

令和2年度 学校評価

評価対象	評価項目	具体的数値項目	方策	肯定的意見の割合[%]			
				保護者	生徒	職員	
I 安心・安全で保護者や地域から信頼される学校	【学校経営方針の共有、学校の教育活動の発信】 学校公開、便り、Web等、様々な機会を通じ、学校経営方針の共有や教育活動を発信している。学校公開、便り、Web等、様々な機会を通じ、学校経営方針の共有や教育活動を発信している。	学校公開、便り、Web等、様々な機会を通じ、学校公開、便り、Web等、様々な機会を通じ、学校経営方針、生徒や学校の様子を積極的に発信している。	学校は、学校公開、便り、Web等、様々な機会を通じ、学校経営方針、生徒や学校の様子を積極的に発信している。 授業参観等の学校公開、学校行事の公開、学校からの便りや通知・Webページ・ブログ等で学校や子どもたちの様子を知らせる。	89.6		95.7	
	【安心・安全な学校】 危機の予測・未然防止を意識して安全点検を行ったり、生徒自身の安全に対する意識を高める指導を行ったりしている。危機の予測・未然防止を意識して安全点検を行ったり、生徒自身の安全に対する意識を高める指導を行ったりしている。危機の予測・未然防止を意識して安全点検を行ったり、生徒自身の安全に対する意識を高める指導を行ったりしている。	危機の予測・未然防止を意識して安全点検を行ったり、生徒自身の安全に対する意識を高める指導を行ったりしている。危機の予測・未然防止を意識して安全点検を行ったり、生徒自身の安全に対する意識を高める指導を行ったりしている。	学校は、安全の視点からの学校施設の安全点検や生徒の安全意識を高める指導（学級活動での災害や事件・事故などへの指導、防災避難訓練、交通安全教室等）に取り組んでいる。 学級活動での災害や事件・事故などへの指導、防災避難訓練、交通安全教室等から、緊急事態(災害や事件・事故など)が発生したとき、自ら安全を考えた行動をとることができる。 危機の予測・未然防止を意識して毎月の安全点検を行ったり、生徒自身の安全に対する意識を高める指導を行ったりしている。	学校の施設及び設備の安全点検、通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導をきめ細かに行う。 日頃から事故等の未然防止や事故等発生時、また事後における対応に関して、適切な対応を組織的に講じられるようにしておく。危機管理マニュアルはPDCAサイクルの中で、訓練、評価、改善を繰り返し実効性のあるものにしていく。	90	93.2	91.3
	【保護者や地域から信頼される学校】 保護者等からの声に誠実に応え、よりよい関係を築き、信頼される学校づくりを推進している。	保護者等からの声に誠実に応え、よりよい関係を築き、信頼される学校づくりを推進している。	保護者等からの声に誠実に応え、よりよい関係を築き、信頼される学校づくりを推進している。	保護者等からの声に迅速にそして丁寧に誠実に応えていく。特に初期対応については組織として迅速に行う。	92		95.7
II 自ら意欲的に学び、正しく判断できる生徒(知)かこさ	【自ら考え追究する授業】 学習では、生徒自ら課題を見つけ、どのように解決したらよいかを考え、粘り強く追究していきけるような授業を行っている。	学習では、生徒自ら課題を見つけ、どのように解決したらよいかを考え、粘り強く追究していきけるような授業を行っている。	学習では、自ら課題を見つけ、どのように解決したらよいかを考え、粘り強く追究している。 学習では、生徒自ら課題を見つけ、どのように解決したらよいかを考え、粘り強く追究していきけるような授業を行っている。	問題意識が高まる課題づくり、根拠をもとに筋道を立てて考えを表現させる指導の工夫、わかった・できたを実感するための場の設定を考え授業を実践していく。		79.1	73.7
	【「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善】 「はばブラII」に示されるような問題解決的な授業づくりを実践し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っている。	「はばブラII」に示されるような問題解決的な授業づくりを実践し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っている。	授業では、興味や関心が高まったり、お互いの考えを比較したり、自分の思いや考えと結び付けたりする活動を行っている。 「はばブラII」に示されるような問題解決的な授業づくりを実践し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っている。	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。 「はばたく群馬の指導プラン」で提唱されている授業の実践。		90.1	78.9
	【情報活用能力の育成】 生徒ひとり一台端末整備に向けて、生徒がICTを適切・安全に使いこなすことができるよう情報活用能力を育成している。	生徒ひとり一台端末整備に向けて、生徒がICTを適切・安全に使いこなすことができるよう情報活用能力を育成している。	学校は、生徒ひとり一台端末整備に向けて、生徒がICTを適切・安全に使いこなすことができるよう情報機器の適切な活用法や情報スキルについて指導している。 生徒ひとり一台端末整備に向けて、ICTを適切・安全に使いこなすことができるよう情報機器の適切な活用法や情報スキルについて学習している。 生徒ひとり一台端末整備に向けて、生徒がICTを適切・安全に使いこなすことができるよう情報活用能力を育成している。	G I G Aスクール構想を踏まえ、生徒ひとり一台端末整備に向けて、生徒がICTを適切・安全に使いこなすことができるよう情報活用能力を育成する。あわせて、実際の授業での活用法等を研修していく。	86.4	92.4	63.2
III 思いやりと感謝の心を持ち、主体的に行動できる生徒(徳)やさしさ	【キャリア教育の推進】 「キャリア・パスポート」を活用し、生徒自ら振り返りながら自身の成長や成長を自己評価できるような、主体的に学びに向かう力を育み自己実現につなげている。	「キャリア・パスポート」を活用し、生徒自ら振り返りながら自身の成長や成長を自己評価できるような、主体的に学びに向かう力を育み自己実現につなげている。	学校は、「キャリア・パスポート」を作成し、これまでの生徒自身の考え方や生き方を振り返り、今後の自分はどうあるべきかを意識し、学習に活用している。 「キャリア・パスポート」を活用し、これまでの自分の考え方や生き方を振り返り、今後の自分はどうあるべきかを意識し、学習を行っている。 振り返りながら自身の成長や成長を自己評価できるような、主体的に学びに向かう力を育み自己実現につなげている。	将来を見据え、自己の生き方を真剣に考える進路指導、生徒自ら目的を持った進路選択、自己実現への過程を大事にするきめ細やかなキャリア教育を推進する。	84	77.9	73.7
	【自ら考え、企画し、運営するさまざまな行事や活動の重視】 生徒が、自ら考え、企画し、運営する行事や活動を通して、達成感や充実感を味わっている。	生徒が、自ら考え、企画し、運営する行事や活動を通して、達成感や充実感を味わっている。	学校は、生徒が自ら考え、企画し、運営する行事や活動を通して、達成感や充実感を味わっている。	行事や活動のなかで、生徒が主体的に関われる部分については、教師主導の活動ではなく、生徒自ら考えさせ、企画・運営させ、生徒自身が達成感や充実感を味わえるようにしていく。	92.4	84.0	90.0
	【一体感、達成感、充実感など、感動を味わう学校行事の創造】 体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事の中で生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。	体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事の中で生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。	学校は、体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事を行う中で、生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。 体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事の中で生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。 体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事の中で生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。	学校行事(体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事)の中で、生徒自身が作り上げる行事を通して、感動をともにする体験をし、生徒が力を合わせ、互いの絆を深められるように支援する。	93.6	95.1	95.0
IV あかるく健康で活力ある生徒(体)たくましさ	【全教職員で取り組む、考え議論する道徳教育】 全教職員で道徳の授業の指導体制を整え、教材研究・授業実践を深め、考え議論する道徳授業展開の工夫をしている。	全教職員で道徳の授業の指導体制を整え、教材研究・授業実践を深め、考え議論する道徳授業展開の工夫をしている。	学校は、学級担任だけでなく学年職員で道徳の授業に関わり、学校全体で生徒の道徳性を育成している。 道徳の授業の中で、様々なテーマについて考えたり友達の意見を聴いたりすることで自分の生き方について考えている。 全教職員で道徳の授業の指導体制を整え、教材研究・授業実践を深め、考え議論する道徳授業展開の工夫をしている。	学校の教職員が協力して道徳の指導に当たることができるよう指導体制を工夫する。 全職員の意識が「考え、議論する道徳」に向かうようにする。さらに、質の高い授業を目指していく。そのためには、いつでもお互いの授業が見られる体制を整えること、定期的な授業研究会を行い授業後は振り返りの時間を確保する。	92.4	94.3	100
	【基本的生活習慣、礼儀やマナーの確立】 あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的生活習慣について、生徒自身が考え行動できるように指導している。	あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的生活習慣について、生徒自身が考え行動できるように指導している。	学校は、あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的生活習慣について、生徒自身が考え行動できるように指導している。 あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的生活習慣について、どのような言動が適切なのかを自ら考え行動している。 あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的生活習慣について、生徒自身が考え行動できるように指導している。	生徒指導委員会での共通理解を全職員へ周知し、あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的生活習慣について、生徒自身が考え行動できるように指導する。	91.2	92.4	90.5
	【学校・学級での居場所づくりの工夫】 学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所づくりを工夫している。	学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所づくりを工夫している。	学校は、学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所づくりを工夫している。 学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所づくりを工夫している。	学校行事は、生徒が深い絆をつくる大きなチャンスである。計画・準備・本番・振り返り等、様々な場面で、生徒が安心して過ごせる「居場所づくり」、自己存在感や充実感を感じられる「居場所づくり」を行う。 学級経営においては、集団を支えられて個が育ち、個の成長が集団を発展させるという相互作用を生かした指導・支援に取り組む。	92	88.6	100
V 教育活動	【何事にもチャレンジする活力ある生徒の育成】 失敗は成長過程で必要なことを指導・支援し、自ら何事にもチャレンジする活力ある生徒を育成している。	失敗は成長過程で必要なことを指導・支援し、自ら何事にもチャレンジする活力ある生徒を育成している。	学校は、失敗は成長過程で必要なことを指導・支援し、自ら何事にもチャレンジする活力ある生徒を育成している。 学習や行事、部活動などで、失敗したりうまくいかなかったとしても、失敗は成長過程で必要であると受け、自ら何事にもチャレンジしている。 失敗は成長過程で必要なことを指導・支援し、自ら何事にもチャレンジする活力ある生徒を育成している。	失敗は成長過程で必要なことを指導・支援し、自ら何事にもチャレンジする活力ある生徒を育成する。	91.6	84.4	100
	【気になる生徒、特定の生徒へのチーム支援】 教育相談や生徒指導など、生徒の気になる様子を見逃すことなく、組織として対応している。	教育相談や生徒指導など、生徒の気になる様子を見逃すことなく、組織として対応している。	学校は、ハッピースマイルプラン、相談室、ほっとルーム、スクールカウンセラーなどをはじめ、不安や悩みを相談できる機会を設け、親身になって応えている。 ハッピースマイルプラン、相談室、ほっとルーム、スクールカウンセラーなどをはじめ、不安や悩みを相談できる機会がある。また、相談したときは親身になって応えてくれる。 教育相談や生徒指導など、生徒の気になる様子を見逃すことなく、組織として対応している。	教育相談的な配慮が必要な生徒に関する情報交換を密にし、対策についても協議し、組織として対応していく。	88.4	83.7	100
	【生徒の自主性を生かした部活動の運営】 部活動運営方針をふまえ、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。	部活動運営方針をふまえ、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。	学校は、部活動運営方針をふまえ、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。 自分たちの自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。	部活動運営方針をふまえ、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して活動する。また、保護者へ部活動の在り方の理解を得る機会を増やしていく。	88.4	91.6	90.0
V 教育活動	【教育公務員としての自覚】 高い倫理観と規範意識を備え、生徒の鑑となる言動をとっている。	高い倫理観と規範意識を備え、生徒の鑑となる言動をとっている。	教職員は、高い倫理観と規範意識を備え、生徒の鑑となる言動をとっている。	教職員は、生徒の人権感覚を醸成する立場にあり、自らも鋭い人権感覚をもたなければならない。人権感覚を養う研修を重ね、教員同士で人権意識を高めていく。			90.9
	【教科等に関する高い専門的な知識や技能】 教科等に関する専門的な知識や技能を高め、授業実践している。	教科等に関する専門的な知識や技能を高め、授業実践している。	教職員は、教科等に関する専門的な知識や技能を高め、授業実践している。	各教科の特性に応じて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していく。			100
	【豊かな人間性とコミュニケーション能力】 教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考えや特性を認めながら生徒の可能性を伸ばしている。	教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考えや特性を認めながら生徒の可能性を伸ばしている。	教職員は、教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考えや特性を認めながら生徒の可能性を伸ばしている。	組織として、特別な支援を必要としている多様な生徒をもれなく把握するとともに、生徒の状況を理解し、対応のあり方を的確に検討し、生徒の可能性を伸ばす。			100

を行う教職員の資質向上	【チーム学校として力を発揮】 組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合っている。	組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合っていると答える教職員が90%以上である。	教職員	組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合っている。	教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして、子どもたちに必要な資質・能力を身につけさせることができる学校をめざす。			100
	【働き方改革】 働き方の意識改革、限られた時間で効率化を図っている。生徒にとって真に必要なものは何かを振り返り業務を削減している。	働き方の意識改革、限られた時間で効率化を図っている。生徒にとって真に必要なものは何かを振り返り業務を削減していると答える教職員が90%以上である。	教職員	働き方の意識改革、限られた時間で効率化を図っている。生徒にとって真に必要なものは何かを振り返り業務を削減している。	教職員の意識改革、保護者・地域へ「なぜ働き方改革が必要なのか」の理解を深める。「子どもたちにとって真に必要なものは何か」を考え、大胆に業務を減らす。			85.7
	【服務規律の確保】 規律確保行動計画や服務規律チェックシートを活用し、非遵行為に対する知識と意識を高め、教育公務員としての自覚を高め自らの行動を律している。	規律確保行動計画や服務規律チェックシートを活用し、非遵行為に対する知識と意識を高め、教育公務員としての自覚を高め自らの行動を律していると答える教職員が90%以上である。	教職員	規律確保行動計画や服務規律チェックシートを活用し、非遵行為に対する知識と意識を高め、教育公務員としての自覚を高め自らの行動を律している。	規律確保行動計画について全職員へ周知を図る。「服務ガイドライン」を活用した研修を行う。同僚性を高め、不祥事を起こさない職場環境づくりを推進する。			100